

講義・演習概要（シラバス）

第3部課程第104期（平成25年7月2日～7月25日）

課 目 名	行政経営の理論と実践
時 限 数	2 時限
担 当 講 師	明治大学政治経済学部教授 牛山 久仁彦 ＜プロフィール＞ 中央大学法学部法律学科卒業。明治大学助教授などを経て、現職。東京の自治のあり方研究会委員、神奈川県総合計画審議会委員、日本行政学会理事、日本地方自治学会理事などを務める。主な著書に『自治体議会の課題と争点』『分権時代の地方自治』『広域行政と自治体経営』など。
ね ら い	新公共経営(NPM:公共部門においても企業経営的な手法を導入し、より効率的で質の高い行政サービスの提供を目指すという革新的な行財政の運営)の視点などを踏まえ、分権時代にふさわしい実務における効率的・効果的な政策形成、組織管理、人事管理、行政評価等の進め方を習得することをねらいとする。
講 義 概 要	地方分権により、住民サービスの向上とそのための効果的・効率的な自治体経営の必要性が高まっている。そこで、本講義では、地方分権により求められることとなった自治体による自主的な経営のあり方について学び、実務の中でどのように活かしていかなければならないのかを2回にわたって講義する。 〈第1回〉地方分権が自治体に求める自治体経営 NPM 理論の意義と課題 自治体にとってのPDCA サイクル構築 〈第2回〉自治体の経営と政策形成 自治体の企画と計画 政策の評価と組織運営 住民サービスの向上のための自治体経営に向けて
受講上の注意	
使 用 教 材	・講義レジメ
効 果 測 定	なし
そ の 他 (他の課目との関連)	なし